

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3142984号
(U3142984)

(45) 発行日 平成20年7月3日 (2008.7.3)

(24) 登録日 平成20年6月11日 (2008.6.11)

(51) Int.Cl.

E O 4 H 13/00 (2006.01)

F I

E O 4 H 13/00

F

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-2577 (U2008-2577)
(22) 出願日 平成20年4月22日 (2008.4.22)(73) 実用新案権者 308011720
株式会社 だいもん
群馬県藤岡市立石 605-7
(72) 考案者 酒井 正美
群馬県藤岡市立石 605-7

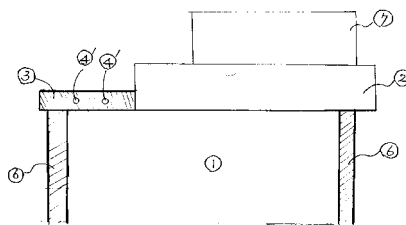
(54) 【考案の名称】 換気機能付拝石

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】新規・既存どちらでも短時間で簡単に改善でき、内部の結露と異物や雨水の侵入を防止し、納骨室の良好な換気を確保することが出来る換気機能付拝石を提供する。

【解決手段】納骨室 1 の上部を閉じる芝台 2 と拝石 3 からなる。簡単に手で動かせる事ができる拝石 3 に換気路 4 ' をつける構造で、納骨室内 1 の湿気を換気することができる。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

納骨室の上部を閉じる拝石内に、その幅方向に延びる換気穴を形成し、拝石の両側部に開口する側部開口部を構成し、更に換気穴の両端部を除いて下面に開口する下面開口部を構成し、加えて両側の側部開口穴に換気を許容しつつ、雨水及び異物の浸入を防止する異物浸入防止具を装着してなる墓の拝石換気構造。

【請求項 2】

拝石の側面下部に1段落し削りを入れて、指の引っ掛け部をもうけた事を特徴とする請求項1記載の拝石換気構造。

【考案の詳細な説明】

10

【技術分野】**【0001】**

本考案は墓所の納骨室内の換気を図る為の換気構造に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

墓所は墓碑、その下部に大地とつながる納骨室及び周囲を区画する外柵で構成され、納骨室は骨を納める部屋であり、大地と接している為、内部に湿気が大変こもり、結露を生じ、骨壺内に水が溜まったり、内部がいつもぬるぬるしている問題がある。

【0003】

いままでも換気に対して、すぐれた物が多いが ほとんど全部が新設や全面改装でしか対応ができなかった。

20

この様に大がかりの物が多い為。今すぐ現在の墓の納骨室を改良したくてもなかなかできなかった。

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 2 0 5 0 7 号公報**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

本考案は従来技術に於ける新設や、全面改装の時しか改善できないことや、未対応の墓の場合大がかりで全部やりなおさないと、既存のシステムでは改善できない点が、一番おおきな問題である。

30

【課題を解決するための手段】**【0005】**

この課題を解決するため 納骨室の上部を閉じる拝石内にその幅方向に延びる換気路を形成し、拝石の両側部に開口する側部開口部を構成し、更に換気穴の両端部を除いて下面に開口する。

下面開口部を構成し加えて両側の側部開口穴に換気を許容しつつ、雨水及び異物の浸入を防止する。

異物浸入防止具を装着してなる墓の拝石換気構造を考案した。

【考案の効果】**【0006】**

40

既存の技術では新設のみでしか、改善できない点が一番多くの問題であり、今ある墓ではなかなか簡単には換気システムは出来ないが、この拝石換気システムでは新規・既存どちらでも短時間で簡単に改善でき、内部の結露と異物や雨水の侵入を防止し、納骨室の良好な換気を確保することが出来る。

【考案を実施するための最良の形態】**【0007】**

以下の本考案を実施するための形態を図面で参照しながら、実施例に基づいて説明します。

この実施例の墓の拝石換気構造は図1に示す様に基本的に納骨室（1）の上部を閉じる。

芝台（2）と拝石（3）からなる。

50

簡単に手で動かせる事ができる拝石（３）に換気路（４）をつける構造で、納骨室内（１）の湿気を換気することができる。

【０００８】

実施例では御影石を用いて構成している。

【０００９】

この実施例の墓の拝石換気構造は図１が示す様に納骨室の上部を拝石（３）と芝台（２）で構成されており、唯一手で動かすことができる。

部材（拝石）に換気穴（４'）を備えたものである。

【００１０】

従ってこの実施例の墓の換気構造は極めて簡単な構造で、しかも簡単な作業で墓の拝石換気構造の作製を完了させ、納骨室の良好な換気と雨水・異物浸入を確保することができる。

10

それ故、内部の結露を防止し、骨壺等の良好な保管状態を確保し、雨水や異物の浸入も防ぐことができる。

【００１１】

図５により別の実施例を説明する。

拝石の側面左右に、側面下部を一部削って拝石を持ちやすく指が引っかかる様に加工し、尚換気穴（４'）を見えにくくして換気穴（４'）を隠す事も出来る。

【００１２】

図６により異物浸入の防止金具を説明する。

20

拝石の換気口（４''）に、ステンレス製の防虫用・防ゴミ用を装着することにより、異物の侵入を防止できる。

文 拝石下面開口部（５）全体にも金網を装着すれば、二重に効果がでる。

【図面の簡単な説明】

【００１３】

【図１】納骨室の横断面図

【図２】納骨室の前側上部の断面図

【図３】拝石の平面図

【図４】拝石の底面図

【図５】拝石の側面図

30

【図６】換気穴の異物浸入の金具

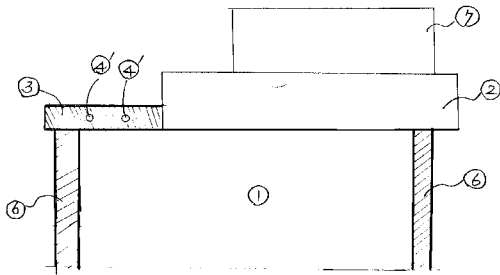
【符号の説明】

【００１４】

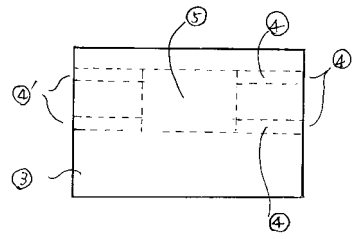
- １ 納骨室
- ２ 芝台
- ３ 拝石
- ４ 換気路
- ４' 換気路
- ４'' 換気口
- ５ 下面開口部
- ６ 納骨室の壁面
- ７ 石碑
- ８ 換気口金具

40

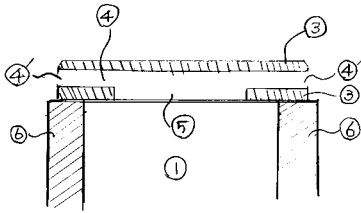
【図 1】



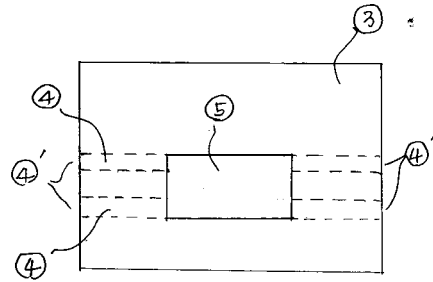
【図 3】



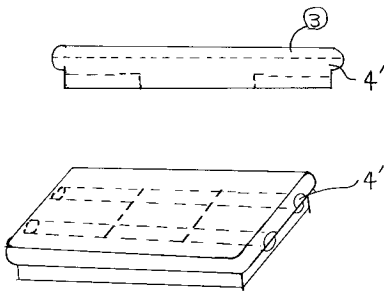
【図 2】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

